

平成25年度「近畿建設リサイクル表彰」受賞者について

建設副産物対策近畿地方連絡協議会は、近畿地方において、建設リサイクルの推進を自主的、かつ積極的に取り組んでいる個人、団体、又は事業者に対し、その活動を賞し、奨励することを通じ、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みを充実させ、廃棄物などの循環資源が適正・有効に利用・処分される「循環型社会」の確立を推進することを目的として「近畿建設リサイクル表彰」を行っています。

<近畿建設リサイクル表彰の受賞者>

近畿建設リサイクル表彰については、6機関による11件の推薦と個人による1件の自薦があり、1月31日に行われた近畿建設リサイクル表彰審査会において、この12件を審査した結果、会長賞4件、奨励賞3件が決定されました。

各賞の受賞者は以下の通りです。

◆会長賞（4件）

●リサイクル率、量の向上、リサイクルの質の向上等に特に優れていたもの

- 「廃瓦の再生品利用による再生砂と単粒瓦の活用」
(再生砂 10mm 以下、単粒瓦 10mm～30mm) (再資源化部門)
角谷木材建設 株式会社
- 「循環型社会構築に向けた廃石膏ボード処理に伴う無水石膏製品について」
(再資源化部門)
大栄環境 株式会社
- 「建設系産業廃棄物から固形燃料 RPF を製造」 (再資源化部門)
奈良総合リサイクルセンター株式会社、山本健土木興業株式会社、
山本商事株式会社
- 「道路事業から発生する建設廃棄物を港湾事業で有効活用する新たな取り組み」
(再資源化部門)
阪神高速技術 株式会社

◆奨励賞（3件）

各部門の取組みで優れていたもの

- 再資源化部門 再資源化施設等における建設副産物の再資源化等（1件）
 - 「砕石プラントを活用した高品質な再生砕石の製造」
徳本砕石 株式会社
- 施工部門 建設工事現場等で取り組まれている建設リサイクルの取組み等（1件）
 - 「道路造成現場から発生する廃棄物・CO2 排出削減及びリサイクル材の利用」
株式会社 鴻池組 清滝生駒道路下田原地区改良工事事務所
- 技術開発研究部門 建設リサイクルに関する研究開発、論文発表等（1件）
 - 「建設系廃棄物のリサイクルにおける社会環境評価手法の技術開発に関する研究活動」
稲積真哉（明石工業高等専門学校）

(参考)

・各受賞者の取組み内容等は、建設副産物対策近畿地方連絡協議会HPでも紹介しています。

- ・ 建設副産物対策近畿地方連絡協議会
近畿建設リサイクル表彰審査会 委員

山田 優 (大阪市立大学 名誉教授：学識者委員)
勝見 武 (京都大学 教授：学識者委員)
美濃部 博 (滋賀県 土木交通部長：自治体代表委員)
大西 亘 (近畿地方整備局 企画部長：
建設副産物対策近畿地方連絡協議会 幹事長)

以上